

陳情第4号

提出された陳情は以下のようになりました

陳情名	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について(お願い)
陳情内容	今後の地方財政は厳しい状況になることが予想されるが、地域の実情に合わせた行政サービスを安定的に提供するためにも地方税・地方交付税等の一般財源総額の確保を強く国に求める。
陳情者	全国市議会議長会 会長 野尻 哲雄
委員会の意見・結果	(総務常任委員会付託) 地方自治体では、医療介護、子育て、地域の防災・減災、雇用の確保など喫緊の財政需要への対応はじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、地方財政は厳しい状況に陥ることが予想される状況にあっても、重要施策や市民サービスを提供していかなければならないことから、地方税、地方交付税などの一般財源総額の確保を求めるため、これを採択して本会議に提出する。

議員発議

発議第1号

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書案

地方税収の大幅減収が予想される中、地方税の重要な基幹税である固定資産税を政策減税の対象とすることが想定されているが、地方税・地方交付税等の一般財源総額の確保並びに、地方税の政策税制については積極的な整理合理化を図り、有効性・緊急性を厳格に判断することを強く国に要望する。

この意見書案は全会一致で可決され、議長名で総理大臣、衆・参議院議長ほか関係省庁へ送付されました。



総務常任委員会
委員長 田中 透たなか とおる

議会を傍聴

9月7日、弘前大学大学院教育学研究科の大学院生らが授業の一環として、予算・決算特別委員会を傍聴しました。審議の様子を傍聴した大学院生からの感想文(抜粋)をご紹介します。

教職大学院生 相馬 昌文 さん

地域に根差した意見が多くみられた。住民の考えに近いのだろうが、宿泊施設の地域振興の取り扱い方法が電話で受付することに疑問を呈し、改善を求めている。それに対し、市側の対応がなるべくきちんと答えようとしていることに誠意を感じた。一つ一つ積み重ねながら議会が運営されていることがわかった。

教職大学院生 佐藤 絢音 さん

議会で使用される資料は前もって参加する人たちに渡されているのか。今回、内容を聞いてみて議会の時に資料が初見だと説明を聞きながらでは理解するのに時間がかかってしまうように感じた。また、資料が前もって渡されていたとしても議会が終わってから質疑したいことも出てくるのではないだろうか。その際の対応があるのか気になる点であった。

今回の予算編成に限らず、一般質問においても、市民に重要な内容が多くあると感じた。これらを市民に伝える手段として、どのような取り組みがなされているのか。

これらのご意見を参考にして、議会の公平性・透明性の確保を図りながら市民に関われた議会運営に努め、積極的な情報発信に取り組んでまいります。

議会を傍聴される方へ

傍聴される際は**マスク着用、咳エチケット、入退場時の手指消毒**をお願いしています。また、人数制限により、ロビーに設置しているモニターでの視聴をお願いする場合があります。

定例会日程については、ホームページをご覧ください。また、議会事務局にお問い合わせください。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



座席の間隔を空けています